

令和 6 年能登半島地震 日本防災士会・新潟県支部の対応

能登半島地震でお亡くなりになられた皆さまに、謹んでお悔やみ申し上げますとともに、被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げます。

■震災後の新潟県支部のうごき

1月1日 発災後すぐに避難所運営訓練に関係した防災士が中心となって地元の小中学校やコミュニティセンターなどの避難所運営にあたる
津波避難誘導や自主防災会の運営、ペット避難などの報告がありました
身内や会社同僚の家が液状化するなどの被害

家具が固定化されていない家屋の被害(上越市直江津)震度 5 強 津波警報



1月2日 宿泊避難者への対応などが報告される
夕方までには新潟県下のほとんどの避難所が閉所
各防災士が地元などを見廻り(液状化箇所等を市役所に報告)
新潟県災害ボランティア調整会議(新潟県社協)から新潟市西区社会福祉協議会が災害ボランティアセンターを立上げ準備に入り派遣要請を受ける(第 1 回会議)
協働型運営の団体として一役を担い西区社協と協働をはじめ



新潟市西区の液状化被害状況

1月3日 新潟市西区社協が災害ボランティアセンターの設置
 西区社協とペアリングで「断水・液状化地域ローラー作戦」(ニーズ調査)6名を派遣
 県内開設されている避難所5か所(避難者27名)いずれも新潟市西区
 住民主導型避難所に3名派遣(防災士5名が交代で宿泊避難者の対応)以後毎日



新潟県社協、西区社協、NSVN 李仁鉄代表、フードバンクにいがた、新潟ねっと、防災士会新潟県支部

1月4日 「社協職員や防災士を中心としたチームで状況確認のため訪問調査
 を実施しています。」(下記社協 HP 案内文にて)5名派遣

<https://niigatanishiku-syakyo.jp/4503/>

6日～8日災害ボランティア募集開始(即日定員に達する)

1月5日 6日開始のボランティアセンター準備 9名を派遣(ニーズ調査、VC設営)

1月6日 新潟市西区災害ボランティアセンター本格稼働
 災害ボランティア(一般32名+団体48名=80名)

VCスタッフ防災士12名派遣(資材班、マッチング班、受付、ニーズ調査)担当



朝のスタッフミーティング



一般ボランティアにオリエンテーション(長濱防災士)

1月7日 VCスタッフ防災士12名派遣(資材班、マッチング班、受付、ニーズ調査)担当



— 昨年の関川村でのボラセンスタッフの経験が活かされる

- 1月8日 降雪のためボランティア活動中止
引越し準備のため3名派遣
1月9日 引越し作業に13名参加



十分な作業スペースと広大な駐車場完備でボランティアさんをお迎えする準備 OK

- 1月10日 ボランティアセンター「みどりと森の運動公園」に移転
VCスタッフ防災士17名派遣(資材班、マッチング班、受付、ニーズ調査)担当



バージョンアップした災害ボランティアセンターで初日ボランティアさんをお迎え



- 1月11日 VCスタッフ防災士19名派遣(資材班、マッチング班、受付、ニーズ調査)担当
1月12日 VCスタッフ防災士14名派遣(資材班、マッチング班、受付、ニーズ調査)担当
1月13日 VCスタッフ防災士17名派遣(資材班、マッチング班、受付、ニーズ調査)担当

日本防災士会・新潟県支部は、みんな元気で災害ボランティアセンター運営支援や被災者支援の一役を担っています。



●新潟県支部活動募金のお知らせ

日本防災士会・新潟県支部は、このたびの能登半島地震において、能登半島の被災者支援とNPO石川県防災士会の活動支援のための募金を集めることといたしました。

集まりました支援金については、新潟県内での能登半島地震に関するボランティア活動ならびに能登半島への防災士を派遣する活動やNPO石川県防災士会の能登半島地震に関するボランティア活動を支援する資金に支出することをお約束いたします。

■日本防災士会・新潟県支部への「活動募金・活動支援金」

ゆうちょ銀行

店名:一二八 店番:128 口座:普通預金

番号:3725450

名義:日本防災士会新潟県支部

- 義援金は、新潟県ホームページ「令和6年能登半島地震で被災された方々(新潟県の被災者)への義援金の受付について」をご覧ください。

<https://www.pref.niigata.lg.jp/sec/suitoukanri/060101gienkin.html>